

事務局にゆーす

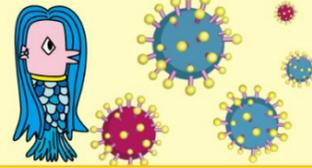
2021.3.20 No.180

<https://okajin.jp/>

NPO法人岡山県腎臓病協議会

〒700-0807 岡山市北区南方2-13-1
 きらめきプラザ・岡山県総合福祉
 ボランティア・NPO会館1階
 Tel086-231-1916 FAX086-233-3593
 Eメールokazin@mx91.tiki.ne.jp

リバウンド（感染再拡大）によりさらに
大きな第4波を招く恐れ！（日本医師会）



日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会報告
 新型コロナウイルス感染者

2021.3.18 現在

全国 感染者数 1,322名（入院中688名、死亡者179名）

※ 2021年に入り、透析患者の感染は急増しています。

原疾患：糖尿病性腎症545名（約41.2%） 1週間で18名増加

lga腎症190名、腎硬化症136名、その他104名、不明・報告なし347名

岡山県内の感染者 11名（死亡2名）

マスクの 効果	マスク無	マスク			シールド	
		不織布	布マスク	ウレタン	フェイスシールド	マウスシールド
吐出飛沫	100%	20%	18-34%	約50%	80%	90%
吸込飛沫	100%	30%	55-65%	約60-70%	小さな飛沫は効果なし	



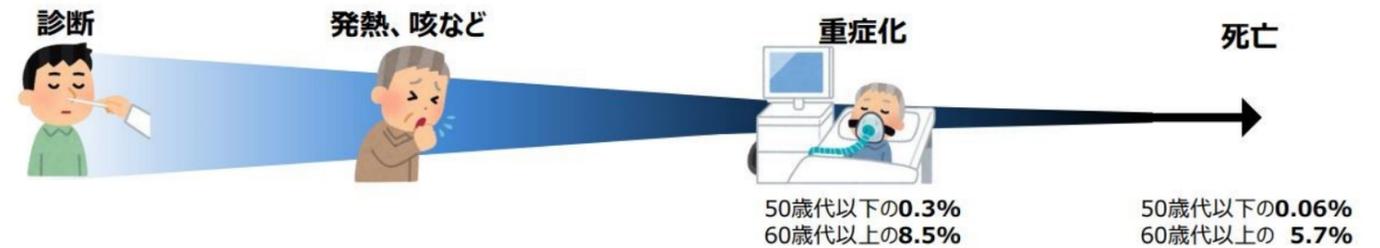
マスク着用時でも
 咳やくしゃみは
 飛沫防止のため
 手で塞ぎましょう!

コロナ禍における透析患者として取るべき行動

- ① 毎日の体温測定
- ② 発熱や咳、嘔吐や下痢などの症状がある場合は、来院前に必ず電話連絡
- ③ 院内では、常時マスク着用厳守、手指消毒の徹底
- ④ 不要不急の外出を控える。

※ 上記を厳守し、院内に感染症を持ち込まないことが極めて重要

資料：厚労省HP



30歳代と比較した場合の各年代の重症化率

年代	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
重症化率	0.5倍	0.2倍	0.3倍	1倍	4倍	10倍	25倍	47倍	71倍	78倍

※「重症化率」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例（無症状を含む）のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例または死亡した症例の割合。

いつどこで起こるか分からない災害に備えて チェックリスト作ってみましょう

- ★ ハザードマップの確認
- ★ 家庭状況のチェック 車・持病薬・避難介助情報
- ★ 避難先のチェック
 指定されている避難所（ペットの不可） 親戚・知人等
- ★ 家族と連絡方法・場所決めておく
- ★ 通院している病院への連絡方法確認
 病院からの災害時についての事前情報を整理しておく
- ★ 保険証・お薬手帳（特にアレルギーのあるもの）
 障害者手帳・岡山県腎協災害手帳（無料配布中）
- ★ 使用のダイアライザー・コンソール・血液データ
 透析条件・薬などをスマホ・携帯で写真を撮り保存
- ※ 通院する病院のスタッフさんに確認備えましょう。

安心して透析が受けられる社会であり続けるために・・・

以前の負担は、3割～5割負担。月額10万～25万円の負担

現在は・・・

私たちの医療費

知っていますか？

医療費の総額 400,000 円(月額)			本来の医療費
健康保険からの支払額 (7割) 280,000円	自己負担(3割) 120,000円		
自己負担額 (3割) 120,000円(月額)			とても払えない
特定疾病に係る高額療養費支給特例 110,000円	自立支援医療 5,000円	重度心身障害者医療費助成制度 5,000円	
低所得者Ⅰ:1,000円 低所得者Ⅱ:2,000円			

これらの制度は、腎友会が交渉を継続している成果

透析医療費は急増!



貴方が今、いつでも誰でもどこでも安心して透析治療が受けられる、この「当たり前」は、先人の努力によって勝ち取った「当たり前」なのです。私たちはこれからもこの「当たり前」を守っていかねばならないし、毎年約1万人もの患者が増え続けている現状は国の社会保障費を圧迫し上記の医療制度がいつ破綻するかわからない中で自分たち自身が守らないといけないのです。

透析医療や制度を守るためには、腎友会の力（会員数）が重要

腎友会は、これ以外にもこれから取り組みべき課題が山積

- ①透析患者の高齢化問題(通院・介護)
- ②慢性腎臓病(CKD)の治療と予防
- ③災害時での対応(今回の新型コロナ対策など)
- ④移植医療の推進 等々です。

他にも、診療時間など医療体制の維持、医療提供内容格差、医療スタッフ不足の問題、患者モラルの問題、などなど抱えている案件は多岐にわたります。

入会のお願い ～ 岡山県腎協 歩み 続けて ～

1971年6月6日、この日、全国で苦しみ腎不全患者の『命の声』を集め全国腎臓病協議会が誕生しました。当時の透析患者は、医療施設不足・多額の医療費負担、1年以内で半数が5年後にはほとんどの患者が亡くなる状況でした。そうした中、岡山県で1975年8月に岡山県腎臓病協議会を設立、医師会の先生方のご協力、行政の理解もあり“いつでも誰でもが安心・安価で治療”を受けられるために、身体障害者手帳(特定疾病)・更生医療・岡山県重度心身障害者医療費助成制度の適用に取組、現在も守るため要望を継続しています。

しかし昨今では、皆様もご存じの様に、国の財政も厳しく借金も1兆円を超え2025年には団塊の世代が後期高齢者になり、増大する社会保障費抑制のため、『社会保障と税の一体改革』が進められています。中でも透析の医療費は高額で国の医療費全体の中でも一定の割合を占めていて、“透析治療”に対しては厳しい目が向けられています。私たち患者が受けている『医療』・『社会保障』は、自己負担額の増加、サービスの制限が厳しくなるということです。

『いつでも 誰でも どこでも』医療・社会保障制度を受けられ、安心して生活を送るためには、患者自身の声を一丸となって、国・市町村行政に届けることを続けなければ、今の制度を守ることはできません。ひとりでは届けられない声を患者会から届けます。皆様、是非ご理解いただきご加入ください。よろしくお願いいたします。

2021年度新規加入者には、全腎協より記念品をご用意しています。

岡山県医師会透析医部会 会長応援メッセージ

岡山県医師会透析医部会は県行政・県腎協と共に三者協議会を開催し、透析医療に関する諸問題を協議、より良い医療を目指し努力しています。さらに、腎不全にならないように啓蒙活動も三者(医療者・行政・患者会)が共同して活動しています。

県腎協に未加入の透析患者の皆様も加入され、諸活動に参加・加入されることを希望します。

岡山県医師会透析医部会 会長 草野 功
(岡山県内透析施設全加盟)

あなたの入会が腎友会組織の「大きな力」になる！
私たちの「命と暮らし」を守りましょう！

